

令和6年 能登半島地震災害義援金募金活動報告

令和6年1月14日
福島第1団団委員長 大関宏之

募金活動は、発災後2週間目で、道路使用申請提出が2週間前までという時間的な制約があったため、大関の所属する福島駅前通り商店街振興組合の加盟店の協力を得て、加盟店の敷地と公道の面した民地をお借りして募金の呼びかけをしました。同日同時間に福島市仏教青年会が駅広場で募金活動をするようになっていましたが、協議の上重なっている時間を、ボーイスカウトに譲っていただくなど、募金箱は赤い羽根拳動募金会から借用したりと各方面からスカウティングに協力をいただいたことも合わせて報告いたします。また、活動中若い方がはにかみながらスカウトの募金箱6箇所全部に募金いただいたり、通行の方からボーイスカウトの活動と知って、お菓子の袋を差し入れていただいたり、心温まるご支援があったことも合わせて付け加えまして、報告といたします。

